

発行責任 自治会連合会役員会

連絡先 六会市民センター ☎81-6677

10月15日～16日 第34回六会公民館ふるさとまつり

災害支援へのご協力ありがとうございました

7月の豪雨で被害を受けた新潟県柏崎市北条地区で作られた新米を販売

地域間交流は新潟県が災害時だけではなく、日頃から情報や人々の交流を通して、互いが信頼関係で繋がるまちづくりの推進を図ることを目的に進められています。

北条地区は中越地震・中越沖地震と2度の震災を体験し、独自のまちづくりや自治会活動等を進めており、県内外から注目されている地区です。

今年6月には39人の方が六会を訪れ交流を深めました。

東日本大震災で被災した気仙沼の醤油や味噌などの物産を販売

きっかけは8月12日に開催した学園都市むつあい協力者会議の主催による講演会に、気仙沼で自らも被災しながら、地元で復旧活動を行っている「I V Y 気仙沼」の若者グループが参加したことでした。これを縁に更なる活躍をサポートできるように気仙沼の物産を宣伝販売いたしました。

(売上げは支援金として活用させていただきます)

宮城県亘理郡山元町から謝辞

ふるさとまつりの初日午後、六会地区が支援を続ける、山元町から、元社会福祉協議会事務局長齋藤三郎さんが六会に駆けつけ、これまでの六会の皆さんへのお礼と現在の山元町の様子を報告してくださいました。

その中で、「まつり」など地域の方々が協力をして行う行事の重要性について、本当に大切な事だと強調されていました。また、これからも長い時間がかかると思われる復興について、山元町を忘れずにいていただきたいと話されていました。

月日が流れ、私たちのなかで、東日本大震災が他人事にならない様にしていきたいと感じました。

